

News Release

2022 年 12 月 27 日
株式会社日本政策投資銀行

学校法人沖縄科学技術大学院大学学園との連携及び OIST-Lifetime Ventures Seed Fund への出資について -アカデミア研究成果の社会実装に向けた新たな取り組み-

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、学校法人沖縄科学技術大学院大学学園（本拠：沖縄県国頭郡、学長：Peter Gruss、以下「OIST」という。）との間で、OIST の先端技術の研究成果を社会実装することを目的として、2022 年 12 月 12 日、業務協力協定（Framework of Agreement）を締結し、合わせて、2022 年 12 月 23 日にライフタイムベンチャーズ合同会社（本社：神奈川県横浜市、代表：木村亮介、以下「Lifetime Ventures」という。）が無限責任組合員として運用する OLV Seed Fund 投資事業有限責任組合（OIST-Lifetime Ventures Seed Fund、以下「本ファンド」という。）に対する出資決定を行いました。

OIST は、2011 年に設立された、充実した研究設備や、複数年度の研究者への研究資金配賦などの特長を有する、競争力ある先端的研究機関です。設立後 10 年の間、研究活動に加え、産学連携に向けた環境整備（アクセラレーションプログラム、アントレプレナーシップ育成など）を推進し、スタートアップの創出にも取り組んできました。

本ファンド GP である Lifetime Ventures は、特定技術を熟知し、際立った才能を有する起業家への支援を特徴としたベンチャーキャピタルであり、創業者に伴走する共同経営者の探索及び、創業者、共同経営者一体となったチームビルディングにノウハウを有しております。

本ファンドは、これまで OIST が蓄積してきた研究成果の社会実装を主な目的としてディープテック系のスタートアップに出資を行うファンドです。本ファンドの活動を通じて、Lifetime Ventures のノウハウや OIST 発技術等、産学の連携を通じて、OIST の研究成果の社会実装や技術事業化、スタートアップ創出の加速が期待されます。

現在、アカデミアの研究成果の社会実装には、経営人材の不足のほか、事業化までの時間軸の見極めの困難さを背景に、財政（公共による研究費支援）と金融（民間による成長資金）による資金調達の間を繋ぐリスクマネーが不足していることが課題であると指摘されています。かかる課題意識に対して、DBJ はアカデミアの技術事業化支援として、これまで JAXA や産総研等の国立研究開発法人と協業し、個別の研究成果に対するリスクマネー供給を見据え連携してまいりました。

本件は、アカデミア連携にファンド出資を組み合わせることで、GP の有するノウハウと連携し、研究成果の事業化及びその後の資金支援を含めた包括的な解

決を目指す初めての試みです。

DBJ は本件取り組みが、本邦アカデミアの研究技術の社会実装が加速される取り組みとして、わが国の科学技術力向上及び経済の活性化に資するものであることから、「特定投資業務（注 1）」の一環として創設された「DBJ スタートアップ・イノベーションファンド（注 2）」より本ファンドへ出資する予定です。

DBJ は今後とも「特定投資業務」を通じた成長資金にかかる市場の発展や地域経済の活性化、競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。



（左：OIST Peter Gruss 理事長兼学長、右：DBJ 取締役常務執行役員 北所克史）

OIST 及び Lifetime Ventures によるプレスリリースはこちら
OIST：「OIST、日本政策投資銀行と枠組み協定を締結」<https://www.oist.jp/ja/node/38230/>
Lifetime Ventures：「OIST-Lifetime Ventures Fund へ日本政策投資銀行、三菱地所、サントリーホールディングス等が参画」<https://lifetime-ventures.com/media/202212pr>

（注 1）民間による成長資金の供給の促進並びに地域経済の活性化及び我が国企業の競争力の強化を図るため、国から一部出資（産投出資）を活用して、成長資金を時限的・集中的に供給する業務です。

（注 2）「特定投資業務」において、スタートアップの創出・育成、イノベーションエコシステムの構築等に向けた取り組みを促進するため設置した資金枠です。

【お問い合わせ先】

業務企画部 イノベーション推進室 電話番号 03—6311—5048